

CPPシーラントフィルム用 ポリプロピレン



- 薄くしても強い。低温でも確実にシールできる。
- 包装材のシール層に適したCPP用の材料です。
- 包装材の薄肉化やPPモノマテリアル包装材で生じる課題解決に貢献します。

環境対応包装材の課題解決に貢献する材料

循環型社会の実現に向け、包装材の薄肉化やモノマテリアル化が進められています。

一方で、剛性やコシ感の低下、包装工程でのOPP基材の熱変形やシワの発生などの課題も生じています。

当社はこの課題に着目し、高剛性タイプと超低温シールタイプの2グレードを開発しました。

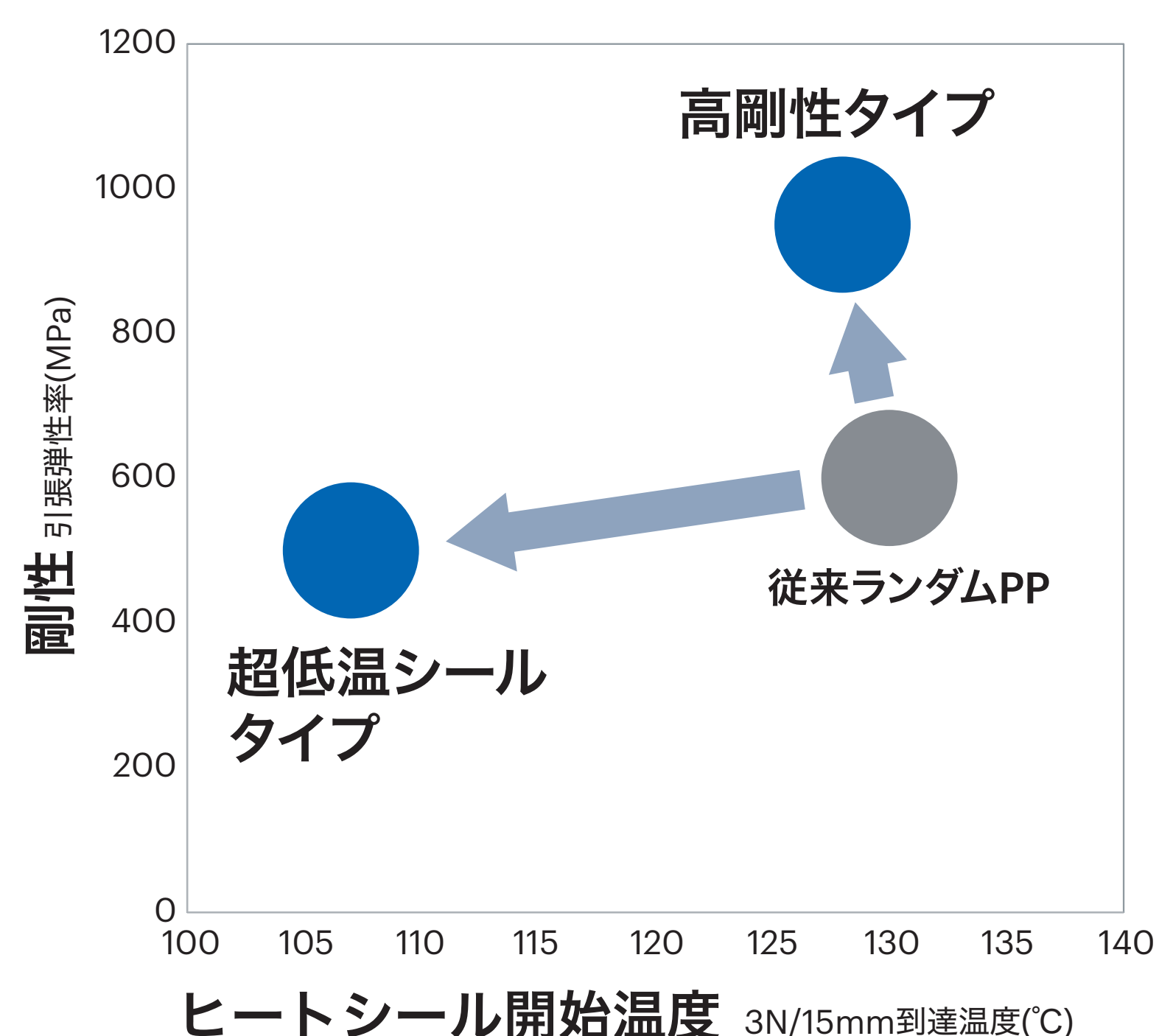
高剛性タイプ

剛性**1.5倍**向上

超低温シールタイプ

シール温度**20°C**低下

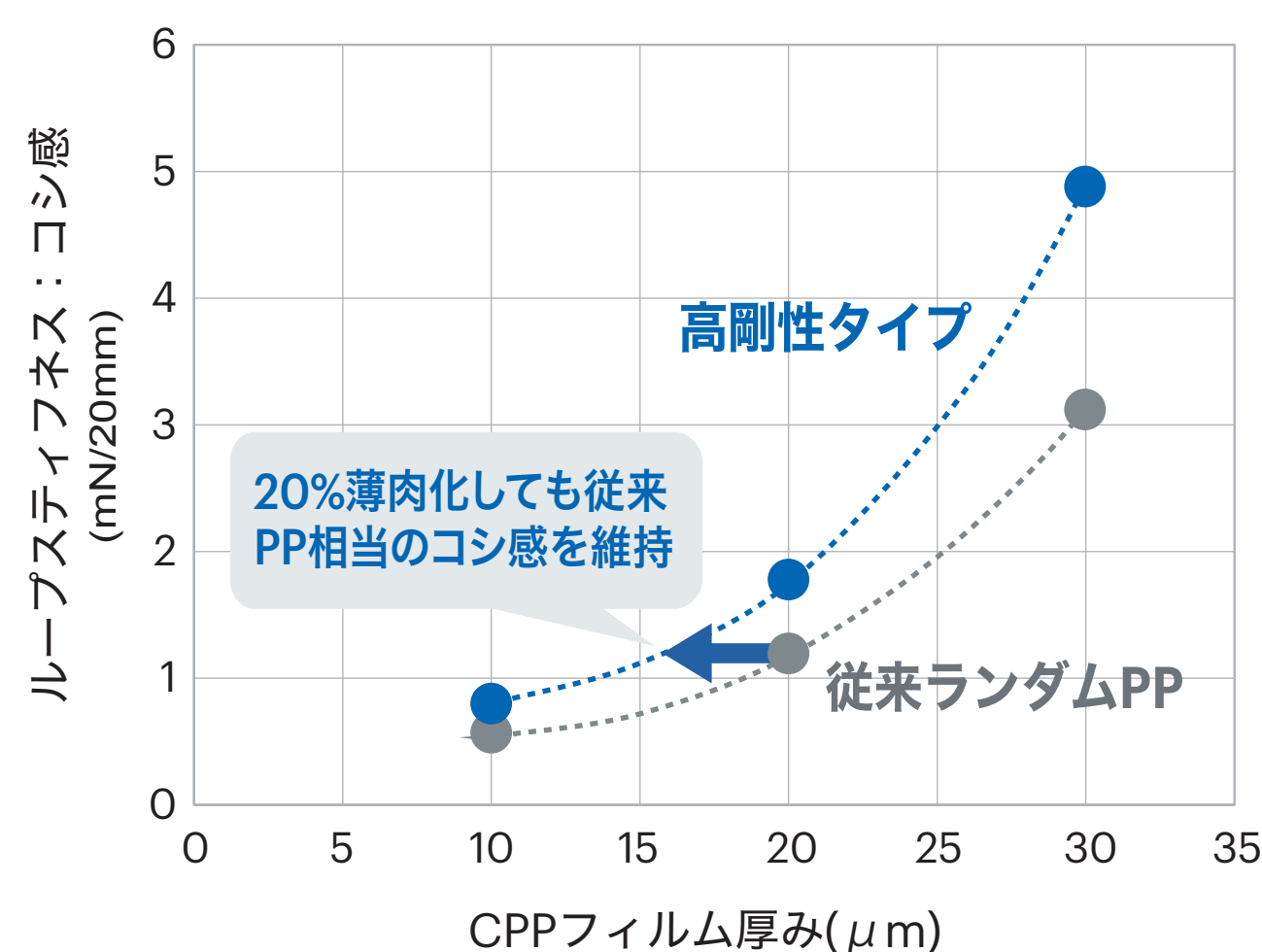
※従来ランダムPP比



高剛性タイプ・超低温シールタイプのご紹介

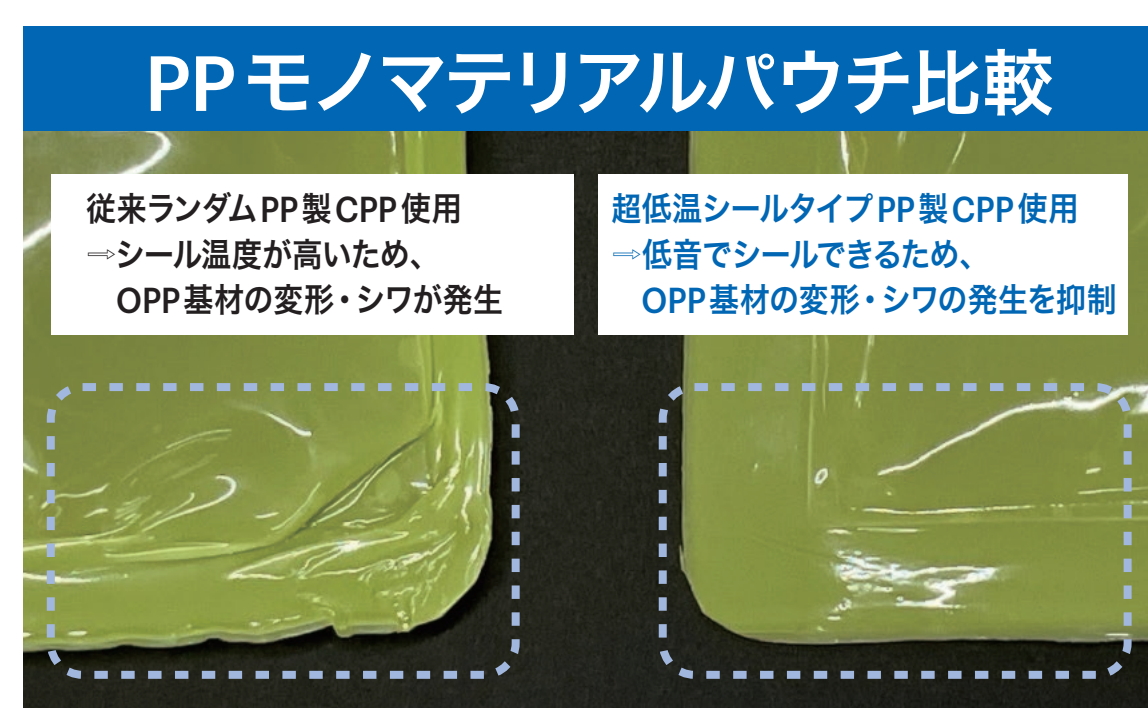
■高剛性タイプ

高い剛性と優れたヒートシール性を両立した材料です。約20%薄肉化しても従来ランダムPP同等のコシ感を実現し、包装材の薄肉化(樹脂使用量削減)や形状安定性向上に貢献します。

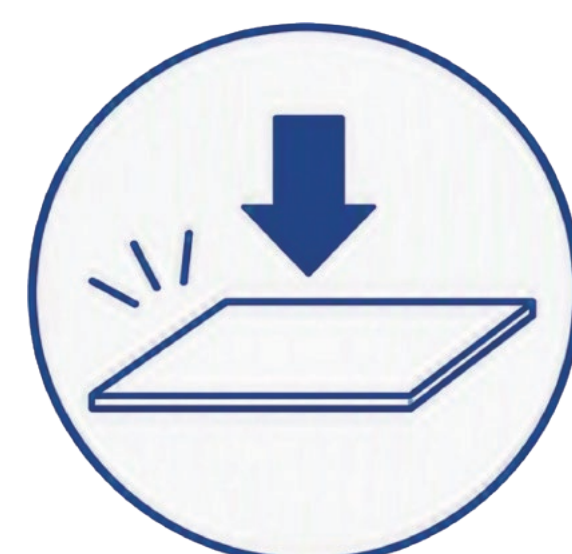


■超低温シールタイプ

従来ランダムPPより約20°C低い温度でシールが可能です。PPモノマテリアル包装材のOPP基材の熱変形やシワを抑制できます。また、低温でも安定したシール強度が得られるため、高速包装時のシール不良やエネルギー使用量低減も期待できます。



高剛性タイプ

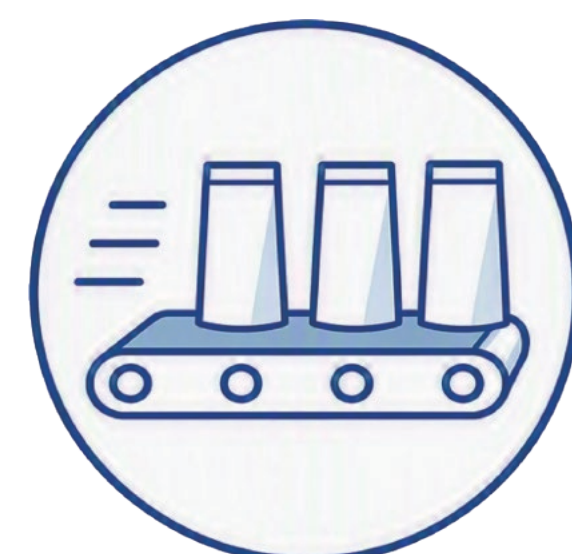


薄肉化

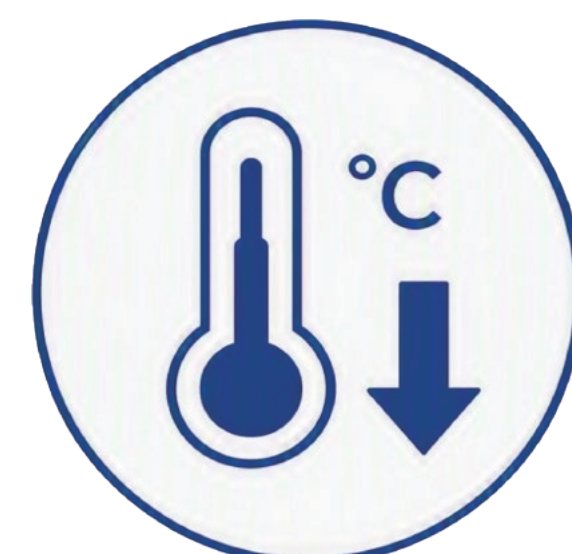


形状安定性

超低温シールタイプ



生産速度向上



加熱負荷低減

